

心臓のつくりとはたらき

どっくん
どっくん

心臓はじょうぶで厚い筋肉でできていて、規則正しく収縮することで血液を全身に送り出しています。



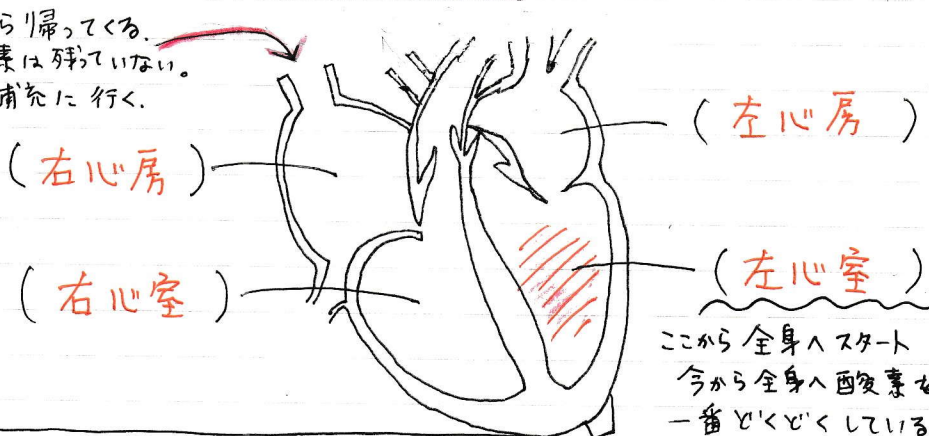
この動きを (^{はくどう} 拍動) という。

心臓は血液を全身に送り出すポンプの役割をしています。

ヒトの

心臓は4つの部屋に分かれています。

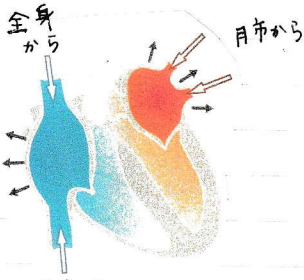
全身から帰ってくる。
もう酸素は残っていない。
肺へ補給に行く。



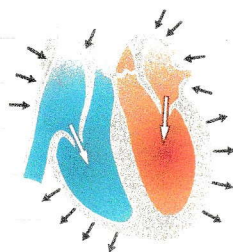
ここから全身へスタート
今から全身へ酸素を運ぶに行く。
一番どっくどっくしている。

左右の心室の入り口と出口にはそれぞれ(弁)があり、血液の逆流を防いでいる。

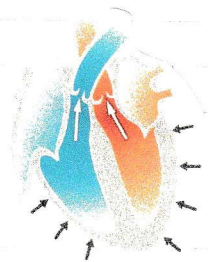
心臓の中の血液の流れ



全身から
心房が広がり、血液が心房に流れこむ



心房が収縮し、心室が広がって、心房から心室に血液が流れこむ



心室が収縮し、血液を送り出される。